兵庫県立美術館
プレスリリース日：2024年 9月25日
更新日：2024年12月17日

阪神・淡路大震災30年　企画展

1995 ⇄ 2025　30年目のわたしたち

1995 ⇄ 2025　Our Lives from January 17, 1995

会期：2024年12月21日(土)～2025年3月9日(日)

阪神・淡路大震災から30年を迎えるに際し、6組7名のアーティストによるグループ展を開催します。

1995年1月17日の震災では、兵庫県立美術館の前身である兵庫県立近代美術館（1970-2001）も建物や収蔵品に大きな被害を受けました。同館を引き継ぎ、2002年に震災復興の文化的シンボルとして開館した当館では、これまでも震災後の節目の年に関連展示を開催してきましたが、**今回が初めての特別展会場での自主企画展**となります。

1995年から2025年までの30年の間に、アメリカ同時多発テロ（2001年）、東日本大震災（2011年）、ロシア軍によるウクライナ侵攻（2022年）、そしてイスラエルとハマスの武力衝突（2023年）、能登半島地震（2024年）と、世界は多くの自然災害や紛争に見舞われてきました。明るい未来を想像することはますます困難な状況となっていますが、そのような時代に求められる希望とは――。

簡単には答えの出ないこの問いを、それでも、あるいはだからこそ考え続けるための、ひとつの場となることを目指し、本展を開催します。アーティストとその作品、何らかの出来事と、それらと出会うみなさんが展覧会という場につかのま集うこと。言い換えれば、今それぞれに生きる「わたしたち」こそ「希望」の出発点にほかならない、そのような思いを展覧会名に込めています。

関連イベント

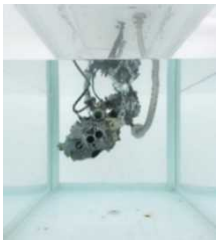
■アーティスト・トーク　米田知子×東芋
　日時：2024年12月21日（土）14時～（約90分）
■講演会 安藤忠雄「震災30年－まちは人がつくる」
　日時：2025年1月12日（日）13:00～（開場12:30～）※受付は終了しました。
■映画上映会『心の傷を癒すということ』劇場版
　日時：2025年1月13日（月・祝）
■学芸員によるギャラリートーク
　日時：2025年1月18日（土）、2月22日（土）いずれも15:00～15:45
■ちいきいとvol.40「生まれたあの子も、もう３０（サーティー）篇」
　日時：2025年1月19日（日）15:00～17:00（開場14:30～）
■「阪神・淡路大震災を伝える・知らせる　情報と通信の1990年代」@兵庫県立歴史博物館×「30年目のわたしたち」@兵庫県立美術館
　災害とコミュニケーション
　日時：2025年2月1日（土）14:00～15:30
■こどものイベント「暗号解読（あんごうかいどく）」
　日時：2025年2月23日（日・祝）
ほか

イベント詳細は4ページをご覧ください。

出品作家

■國府理 Kokufu Osamu

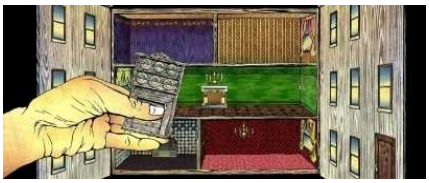
1970年京都府生まれ。乗り物の形態をモチーフに、実際に稼働する動力と機能を備えた大型の立体作品を制作・発表。様々な工業製品を素材に用いながら、必要な部材を自ら作り出し、ユニークな自動車やバイクを生み出す。その後、乗り物に植物や生態系を組み合わせ、「移動」と「循環」をテーマに自然と人間の営みについての寓話のような庭や温室型の作品によって創作スケールを拡大させるが、2014年、展示作品の点検中の事故により逝去。



参考：國府理「國府理 水中エンジン redux」（後期展）2017年
アートスペース虹の展示風景　撮影：Tomas Svab

■束芋 Tabaimo

1975年兵庫県出身、長野県在住。手描きドローイングと日本の伝統的な木版画の色彩を思わせるアニメーションを用いたインスタレーション作品で知られ、現代日本社会に潜む問題をシュールでシニカルに表現する。2011年、第54回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に日本代表として参加。2006年からは様々な舞台作品にも取り組み、国内外で上演を重ねる。2023年にはコペンハーゲンで大規模個展を開催。今年7月には寺田倉庫で新作「触れてなどいない」を発表し、10月にギャラリー小柳(東京)で個展を開催。



参考：束芋《dolefullhouse》2007年 兵庫県立美術館蔵
©Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi

■田村友一郎 Tamura Yuichiro

1977年富山県生まれ、京都府在住。既存のイメージやオブジェクトを起点にした作品を手掛ける。作品は、写真、映像、インスタレーション、パフォーマンス、舞台まで多彩なメディアを横断し、土地固有の歴史的主題から身近な大衆的主題まで幅広い着想源から、現実と虚構を交差させつつ多層的な物語を構築する。作品体系として、その多くがコミッションワークであり、近年では美術館のコレクションなども対象の事物として扱う。2024年11月より、水戸芸術館で個展を開催。

参考：田村友一郎《試論：栄光と終末、もしくはその週末/Week End》2017年 インスタレーション

■森山未來 Moriyama Mirai*

1984年生まれ、兵庫県出身。5歳から様々なジャンルのダンスを学び、15歳で本格的に舞台デビュー。2013年文化庁文化交流使としてイスラエルに1年間滞在、ヨーロッパ諸国で活動。「関係値から立ち上がる身体的表現」を求め領域横断的に国内外で活動を展開。俳優として日本の映画賞を多数受賞。ダンサーとして第10回日本ダンスフォーラム賞受賞。東京2020オリンピック開会式ではオープニングソロパフォーマンスを担当。2022年神戸市にArtist in Residence KOBE(AiRK)を設立、運営に携わる。

参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未來ほか

■梅田哲也 Umeda Tetsuya*

1980年熊本県生まれ、大阪を拠点に活動。現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。2023年度にはワタリウム美術館で個展「wait this is my favorite part」を開催。同年、芸術選奨文部科学大臣新人賞、Tokyo Contemporary Art Awardを受賞。

参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未來ほか　撮影：天野祐子

* 森山と梅田はコラボレーションによる制作と発表を行います。

■やなぎみわ Yanagi Miwa

1967年神戸市生まれ、京都府在住。美術作家、舞台演出家。1993年エレベーターガールをテーマにした作品で初個展、以後国内外で個展多数。2009年第53回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本代表作家。2011年より演劇活動を開始し、近代美術の黎明期をテーマに美術館や劇場で公演、北米ツアーも果たす。2019年個展「神話機械」が美術館巡回。2021年台湾オペラ「アフロディーテ～阿婆蘭～」を作演出。2016年より台湾製の特殊車両による野外巡礼劇を続けており、神戸の兵庫津では海上公演を実現。以降、時宗の始祖、一遍上人の軌跡と芸能を研究するプロジェクトが発足している。

参考：やなぎみわ《「女神と男神が桃の木の下で別れる」川中島 II 》2016年

■米田知子 Yoneda Tomoko

1965年兵庫県明石市生まれ、ロンドン在住。20世紀のイデオロギーをテーマに、戦争や震災の傷跡が残る日本国内およびヨーロッパ、東欧、アジアなど幅広い地域における人々の記憶が強く残る場所を訪れ、徹底した対象へのリサーチを重ねながら制作を続ける。写真を通して土地やものに宿る歴史的真実に迫り、詩的な感性をたたえた情景の背後に幾層にも重なる記憶を呼び起こす。

米田知子《震源地、淡路島》1995年
国立国際美術館蔵 ©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts

＜同時期開催の展覧会＞
■阪神・淡路大震災30年 企画展「1995 ⇄ 2025　30年目のわたしたち」
2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）
■コレクション展Ⅲ　あれから30年－県美コレクションの半世紀
2025年1月7日（火）～ 4月6日（日）

＜横尾忠則現代美術館で同時期開催の展覧会＞
■阪神・淡路大震災30年　横尾忠則の人生スゴロク展
2025年1月17日（金）～ 2025年5月6日（火・振休）

＜Ando Gallery＞
入場無料（当館 2 階）

＜近日開催のイベント＞
■HART TALK 館長といっしょ！Vol.14
彫刻家 青木野枝さんをお迎えして　―兵庫県立美術館への屋外作品設置を終えて
日時：2025年1月11日（土）14:00 –15:30（受付開始13:30）
場所：兵庫県立美術館 KOBELCOミュージアムホール
事前申込制、定員100名、参加無料（要コレクション展観覧券）
申込みフォーム　https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1732769588214

■コレクション展「無料」観覧日　※公益財団法人伊藤文化財団の協賛により「無料」でご覧いただけます。
1月12日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日
1月17日（金）ひょうご安全の日
2月 9日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日
3月 9日（日）第2日曜日、自由に話せる観覧日

関連イベント

■アーティスト・トーク 米田知子 × 束芋
日時：2024年12月21日（土）14:00〜15:30（開場13:30〜）
出演：米田知子、束芋　※いずれも本展出品作家
会場：KOBELCOミュージアムホール
定員：150名　※先着順。要本展観覧券（半券可）、芸術の館友の会会員優先座席あり

■講演会 安藤忠雄「震災30年－まちは人がつくる」
日時：2025年1月12日（日）13:00〜（開場12:30〜）
会場：KOBELCOミュージアムホール
定員：150名（要本展観覧券（半券可））　※受付は終了しました。

■映画上映会『心の傷を癒すということ』劇場版
日時：2025年1月13日（月・祝）
10:30 1回目上映、
12:45 新作『港に灯がともる』公開直前スペシャルトーク（30分程度）『 港に灯がともる』プロデューサー　堀之内 礼二郎、安成 洋
14:00 2回目上映
主催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会、兵庫県映画センター
会場：KOBELCOミュージアムホール
定員：各回250名
料金：中学生以上1,000円（本展観覧券呈示で800円）、小学生・芸術の館友の会会員500円
※当日券のみ、上映30分前から会場前で受付。トーク参加希望の方は、入場券購入時に整理券受取要
問合せ：兵庫県映画センター（078-754-5503）

■学芸員によるギャラリートーク
日時：2025年1月18日（土]、2月22日（土）いずれも15:00〜15:45
受付：３階カウンター前
定員：20名　※先着順、要本展観覧券（半券可）

■ちいきいとvol.40「生まれたあの子も、もう３０（サーティー）篇」
日時：2025年1月19日（日）15:00〜17:00（開場14:30〜）
主催：ちいきいと実行委員会、兵庫県立美術館
出演：野口志乃（北野工作室）、田岡和也（yamani_iku_taoka）、小松菜々子（空地文庫）、江上ゆか（当館学芸員 ※解説）ほか
会場：旧レストラン・スペース（2階）
料金：1,000円　※参加者は「1995 ⇄ 2025　30年目のわたしたち」展観覧料金割引
問合せ：ちいきいと実行委員会（chiikiitokobe@gmail.com）

■「阪神・淡路大震災を伝える・知らせる　情報と通信の1990年代」@兵庫県立歴史博物館×「30年目のわたしたち」@兵庫県立美術館
災害とコミュニケーション
日時：2025年2月1日（土）14:00〜15:30
出演：吉原大志（兵庫県立歴史博物館学芸員）、山本淳夫（横尾忠則現代美術館館長補佐）ほか
会場：レクチャールーム
定員：80名　※先着順、要本展観覧券（半券可）
震災当時、芦屋市美術博物館学芸員として直面した山本氏と、兵庫県立歴史博物館で震災をテーマとした展示を企画した吉原氏が語り合います。

■ゆっくり解説会 in Winter （手話通訳・要約筆記付き解説会）
コレクション展＋特別展の解説をおこないます
日時：2025年2月9日（日）13:30〜14:25（開場13:00〜）
会場：レクチャールーム
定員：60名（先着順）

■映画上映会『べっぴんの町』
日時：2025年2月22日（土）10:30 1回目上映　14:00 2回目上映
会場：KOBELCOミュージアムホール
定員：各回250名
料金：中学生以上1,000円（本展観覧券呈示で800円）　小学生・芸術の館友の会会員500円
※当日券のみ、上映30分前から会場前で受付
問合せ：兵庫県映画センター（078-754-5503）
大震災で失われた神戸の建物や風景も映し出されています。

■こどものイベント「暗号解読（あんごうかいどく）」
日時：2025年2月23日（日・祝）
出演：田村友一郎（本展出品作家）
会場：アトリエ２
詳細は決まり次第当館Webサイトなどでお知らせします。

■座談会　國府理《水中エンジン》を展示・収集・保管する
日時：2025年3月2日（日）　14:00〜15:30
出演：はがみちこ、白石晃一ほか　※いずれも國府理「水中エンジン」 再制作プロジェクトメンバー
会場：レクチャールーム
定員：80名　※先着順、要本展観覧券（半券可）

■ミュージアム・ボランティアによるスライド解説
日時：毎週日曜日　11:00〜（約15分）
会場：レクチャールーム
定員：80名　※先着順、要観覧券（半券可）

開催情報

展覧会名　阪神・淡路大震災30年 企画展「1995 ⇄ 2025　30年目のわたしたち」
会　　期　2024年12月21日（土）～ 2025年3月9日（日）
開館時間　午前10時～午後6時（入場は閉館の30分前まで）
休 館 日　月曜日［ただし1月13日（月・祝）と2月24日（月・振休）は開館、1月14日（火）と2月25日（火）は休館］、12月29日（日）～1月3日（金）
会　　場　兵庫県立美術館　〒651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1［HAT神戸内］
主　　催　兵庫県立美術館、神戸新聞社、朝日新聞社
協　　賛　公益財団法人伊藤文化財団、一般財団法人みなと銀行文化振興財団
協　　力　日本航空、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、神戸大学都市安全研究センター、神戸フィルムオフィス、写真弘社、日本サービス株式会社、ホテルオークラ神戸、摩耶山再生の会、まやビューライン（摩耶ロープウェー・摩耶ケーブル）、ルフトツーク、AGC株式会社、Artist in Residence KOBE（一般社団法人ハイム）、アートコートギャラリー、ギャラリー小柳、シュウゴアーツ
特別協力　公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
後　　援　NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
助　　成　芸術文化振興基金、一般財団法人安藤忠雄文化財団、ひょうご安全の日推進県民会議

＜観覧料＞

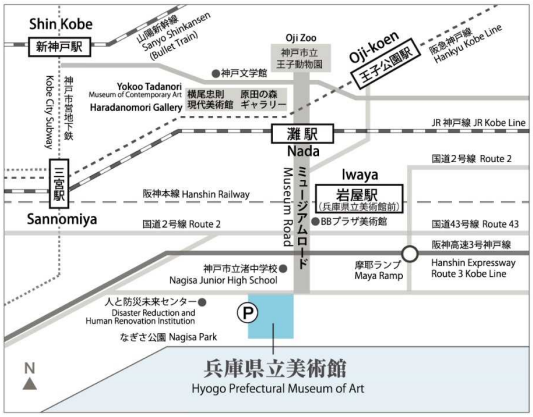
	当日券	団体料金	前売券（12/20まで）
一般	1,600円	1,400円	1,400円
大学生	**1,000円**	**800円**	**800円**
高校生以下	**無料**		—
70 歳以上	800円	700円	—
障害者手帳等をお持ちの方（一般）	400円	350円	—
障害者手帳等をお持ちの方（大学生）	250円	200円	—

※前売券販売期間：9月25日(水)～12月20日(金)23:59 (会期中は販売しません)
※一般以外の料金でご利用される方は、証明書を観覧当日ご提示ください。
※障害者手帳等をお持ちの方１名につき、その介助の方１名は無料。
※団体(20名以上)でご鑑賞いただく場合は１ヶ月前までにご連絡ください
※コレクション展は、別途観覧料が必要です(本展とあわせて観覧される場合は「割引」があります)。

［主なチケット販売場所］
ローソンチケット（Lコード：55629)、チケットぴあ（Pコード：687-077)、
セブンチケット（セブンコード：107-696)、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイド、アソビュー！

[交通案内]

・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
・JR三ノ宮駅から神戸市バス（29、101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
　※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください。



「1995 ⇄ 2025　30年目のわたしたち」広報画像ダウンロードのご案内

本展では、オンラインでご利用いただける、広報用ダウンロードシステムをご用意しております。本リリースに掲載している画像のうち以下の図版については、下記の URL にアクセスしていただきお申込みください。（※初回のみ新規ご登録が必要です。）

https://www.artpr.jp/hyogo_pref_museum_of_art/30nenme

参考：國府理「國府理 水中エンジン redux」（後期展）2017年　アートスペース虹の展示風景　撮影：Tomas Svab

参考：やなぎみわ《「女神と男神が桃の木の下で別れる」川中島 II 》2016年

参考：束芋《dolefullhouse》
2007年　兵庫県立美術館蔵
©Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi

米田知子《震源地、淡路島》
1995年　国立国際美術館蔵
©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts

参考：田村友一郎《試論：栄光と終末、もしくはその週末 / Week End》2017年 インスタレーション

（ポスター画像）※キャプション不要

参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未來ほか

参考：梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」2020年
役者：森山未來ほか　撮影：天野祐子

【 画像使用に際しての注意事項 】

○「作家名」「作品名」「制作年」「展覧会名」「所蔵先」「クレジット」などを明記してください。
○作品画像の加工（着色、トリミング、文字載せなど）はできません。
○基本情報、画像使用の確認のため、ゲラ・原稿の段階で「企画・広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします。
○掲載媒体を 1~2 部、もしくは URL、同録（DVD、CD ）を「企画・広報担当」宛にお送りください。
○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます

取材申込書

取材をご希望の方は下記にご記入のうえ、
取材希望日の**３営業日前まで**にメールまたはFAXにてお申し込みください。
メール　：　press@artm.pref.hyogo.jp
ＦＡＸ　：　078-262-0903

お申込日　　年　　月　　日

<<　取材内容　>>

希望日時	第1希望	年	月	日（	曜）	時	分	～	時	分		
	第2希望	年	月	日（	曜）	時	分	～	時	分		
	第3希望	年	月	日（	曜）	時	分	～	時	分		
希望場所												
企画内容												
カメラ撮影	□　あり　（スチール　台　ムービー　台　三脚・脚立　台）											
	□　なし											
取材人数	人											
取材時の代表者名												
媒体種別	□テレビ　□ラジオ　□新聞　□Web　□その他（　　）											
媒体名												
掲載・放送予定日時	□掲載	年	月	日（	曜）	時	分					
	□放送	年	月	日（	曜）	時	分					

ご連絡先	担当者名	
	社名・部署名	
	住所	
	電話番号	
	FAX	
	E-Mail	

＊企画内容によってはご要望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
＊作品の著作権保護や出展作品のクレジット確認等のため、展示風景や作品の画像使用にあたっては、紙面掲載、番組放送前に原稿を確認させていただいております。校正段階での原稿・映像等を事前に広報専用メールへご提出ください。
＊掲載媒体を1～2部、もしくはURL、同録（DVD、CD）をお送りください。

〈取材についてのお問い合わせ〉
兵庫県立美術館　企画･広報担当（岩本･早栗･成松）
〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL：078-262-0905　FAX：078-262-0903　Mail：press@artm.pref.hyogo.jp